

作業道作設支援ソフトウェア OWL Trail Designer

概要

- 本システムは、森林3次元計測システムOWLで計測し解析した3次元点群・地面データ・立木データを使用して、作業道の作設をサポート。
- 作業道作成モードでは、幅員幅、最大縦断斜度、最小カーブ半径を指定し、表示された等高線上で、始点から終点まで経路を設定。土工量や延長、面積の算出はもちろん、支障木の本数や位置も把握することが可能。さらに、縦断面図／横断面図も出力可能。
- 3次元の状態で、作業道作設前と後の状態を確認可能。
- 作業道情報・支障木リストはCSVとPDFファイルに出力。平面図・縦断面図・横断面図はPDFファイルに出力。

導入効果

- OWLで計測したデータを基に、間伐や主伐の際に作設する作業道の作設をシミュレーションすることが可能。緻密な地形データを基に、より最適な作業道の設計が可能となると共に、現場作業を軽減することが可能。
- 作業道作設前の踏査の際にOWLで計測すれば、解析結果の計測地点を結ぶことで作業道が設定されると共に、ルートに沿った領域の資源調査も行うことができるという一石二鳥の効率化を実現。

The screenshot displays the OWL Trail Designer software interface. It features a 3D visualization of a forest terrain with a planned path highlighted in red. On the left, there are control panels for '経路作成' (Path Creation) with settings for maximum slope (27%), longitudinal slope (9%), and minimum curve radius (3.0m). A central panel shows '作業道作成 作業道情報 表示' (Path Creation Path Information Display) with fields for width (3.0m), area (339.1 m²), length (114.0m), earthwork volume (cut: 155.4 m³, fill: 77.2 m³, total: -78.2 m³), number of obstructions (37), and total area (37,497 m²). To the right, there are tables for '作業道情報' (Path Information) and '支障木リスト' (Obstruction Tree List). At the bottom, there are graphs for '縦断面図' (Longitudinal Section) and '横断面図' (Cross-section) showing elevation and width profiles.



Advanced Intelligence

○ 対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹
茶	花き		林業	
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	その他

○ 開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

📞 連絡先
 (株)アディン研究所 製品サービス事業部
 TEL:03-3288-7835
<https://www.owl-sys.com/>
owl@adin.co.jp



お問い合わせフォーム

情報記載日：2020年10月30日